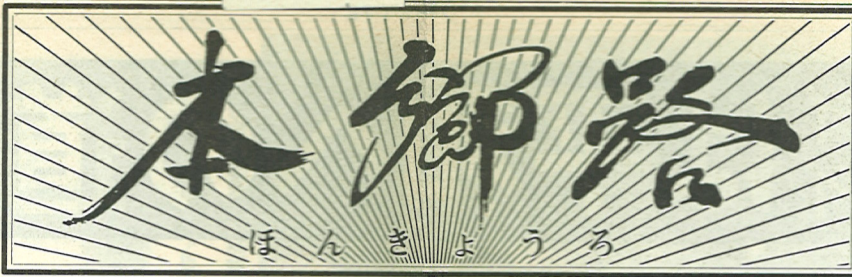


ほんきょうろ

本郷路(ほんきょうろ)とは、人類すべてが本心から慕い求める故郷である理想世界=地上天国を実現するための道路という意味です。

(題字は文鮮明師)



8月号 August 1987 VOL.32

発行日/昭和62年8月1日(毎月1日発行)
定価/年間購読 3000円(送料込)
発行所/©国際ハイウェイ建設事業団
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大谷ビル3号館4階 ☎03(496)-2862
郵便振替・東京4-150968(本郷路編集部)

日韓トンネル研究会九州支部第五回総会が開催



第5回九州支部総会
主催 国際ハイウェイプロジェクト 日韓トンネル研究会九州支部

九州支部の第五回総会では地元企業関係者の姿が目立った

九州が建設の中心に

地元産業界の意識高まる

国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会九州支部(支部長・高田善清九州大学名誉教授)は、七月十一日、福岡市の博多都ホテルで第五回総会を開催した。総会には、博多都ホテルで待合づく地元福岡をはじめ佐賀、長崎、大分など九州各地から会員・一般約三百名が出席し、九州でのトンネル建設活動の報告と来賓の希望あふれるメッセージに耳を傾けた。また総会に先立ち、同ホテル内では、約三百名の学者・技術者が参加して部会研究報告も行われた。



総会の翌日、国会議員が斜坑現場を視察

清水氏は「国際ハイウェイ・日韓トンネルの理念と研究会の使命」と題して講演し、本プロジェクトを進めてゆく上での明快な理念の必要性を訴えて、文鮮明師のハイウェイ提唱から出発したアジアハイウェイ及び日韓トンネル構想の基本的理念を紹介。「現在は一〇年には七十億に達するといふ。世界の人口がいかに増加しているか、食糧不足や貧困が深刻化しているか、一方欧米では出生率の低下と平均寿命の伸びが顕著だ。このため先進諸国の高齢化と発展途上国の若年化という人口の南北問題がクローズアップされており、国連人口活動基金は「世界人口五十億人の日を制定して、各国に人口問題への自覚を促した。二十一世紀を目前にして人類は大変革を迫られている。それと技術や制度ではなく、人種や文化の違いを越えて互いをいかに理解するかといった心の改革だ。現代が宗教の時代といわれる所以だが、行き詰まった社会に方向性を示すのが宗教の使命ではないか」として、韓国で調査開始されたことにもうける。文鮮明師は、日韓トンネルは日本の資源・人口問題を解決し、国際ハイウェイは世界に平和をもたらすと説く。◆提唱から六年目を迎えた夢の大事業も、韓国から日韓トンネルの海洋地質調査研究団が来日して、日本側スタッフと共に汗を流すまでになった。日韓両国が協力すれば本格的なトンネル建設も目前になる。オリンピックを前に韓国も腰を上げはじめたようだが、今後の進展が楽しみになった。

韓国でも調査開始

日韓トンネル

韓国でも調査開始

九州支部第五回総会では、六十一年度の全体経過報告が行われ、日韓トンネル調査斜坑起工式や韓国・国際ハイウェイ研究会の設立、米国内で開かれたICUSでの日韓トンネル建設の発表など、国内及び海外での主な活動状況が紹介された。続いて議事には、高田支部長が議長に選出されて、六十一年度の調査開始を印すべく、六項目を述べた。日本側では、ルート全域にわたる地質調査がほぼ終了、今後はルート選定と地質調査が予定されている。一方韓国では、国際ハイウェイ研究会(会長・尹世元)と同日研究会釜山支部(支部長・高冠瑞)が昨年設立され、本格的な調査研究の足がかりができたことである。

韓国側では、釜山支那の張善徳・釜山水産大学教授以下六名が来日した。張教授らは二十七日まで日本に滞在。その間、対馬北西海域で就航中の第一定安丸に乗り込

み、日本側技術者とともにスパーカーによる音波探査の実習に参加した。また福岡と東京、山崎達雄・九大名誉教授や高橋彦治・八千代エン지니어リング顧問らから地質調査の講義を受けたことも、筑波の地質調査所や日本有数の地質調査船「白瀬丸」を見学した。

◆提唱から六年目を迎えた夢の大事業も、韓国から日韓トンネルの海洋地質調査研究団が来日して、日本側スタッフと共に汗を流すまでになった。日韓両国が協力すれば本格的なトンネル建設も目前になる。オリンピックを前に韓国も腰を上げはじめたようだが、今後の進展が楽しみになった。

◆提唱から六年目を迎えた夢の大事業も、韓国から日韓トンネルの海洋地質調査研究団が来日して、日本側スタッフと共に汗を流すまでになった。日韓両国が協力すれば本格的なトンネル建設も目前になる。オリンピックを前に韓国も腰を上げはじめたようだが、今後の進展が楽しみになった。

未来をつなぐ国際ハイウェイ・プロジェクト

国際文化財団創設者 文鮮明師



人類一家族という理想を実現する方向で、東洋と西洋の諸国を連結するのが、国際ハイウェイの構想です。世界の人々を一つに結ぶ高速輸送のネットワークをつくり、世界の至る所に一日以内で往復できるようにすれば、それだけ地上天国の実現は早いといえるでしょう。世界の経済が統合されるにつれ、広範な経済の発展が可能となり、人々はみな豊かな生活を営み、大部分の時間をレジャーに費やすようになるでしょう。私はすべての人々が真の生活を楽しむ理想世界が、必ず来るということを確信しています。

(第10回科学の統一に関する国際会議での挨拶より抜粋)

(ご案内)

- ビデオ ●「本郷路」国際ハイウェイ(10~15分、日・英語)
パンフレット ●「国際ハイウェイプロジェクト」(B5判、日・英語)
●「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型)
●「国際ハイウェイレポート」(B5判)
新聞 ●「本郷路」月刊(タブロイド判)

●お申し込みお問い合わせ ☎03-496-2862



国際ハイウェイ建設事業団

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大谷ビル3号館4階 ☎03(496)2893

会員募集

- 正会員 年額 1口 5,000円
●賛助会員 年額 個人 1口 10,000円以上 年額 法人 1口 50,000円以上
●お申し込み先 ☎03-496-9211

国際ハイウェイプロジェクト 日韓トンネル研究会

CLIP TAPE

KOKUYO

国際ハイウェイは平和への道

日韓トンネル研究会
九州支部
第5回総会

実現への強い意欲

建設に希望持つ賛同者

五回目を迎えた九州支部総会は、博多祇園山笠で盛り上がる福岡市で開かれ、本プロジェクトの進展に関心をもち、地元技術者らが多数出席した。昨年十月の調査報告の起工式以来、九州では新聞、雑誌、テレビなどでも報じられ、日韓トンネルに対する地元関心は急速に高まってきた。そのため、この日の報告会、総会には地元企業関係者が目立ち、九州支部役員との活発な意見交換のやりとりも行われた。そして山笠の熱気のままに来賓の挨拶にも力が入って会場は大いに盛り上がり、九州がトンネル建設の先頭に立つといった意気込みを感じさせた。盛会のうちに終了した。



懇親会でも来賓の力強いメッセージが続いた



報告会では出席者からの質問が相次いだ

「国を結ぶハイウェイができ、いメッセージを送る会場からは戦争の可能性もなくなり、一斉に拍手がわきおこした。戦争を経験した世代は子孫のために平和の礎を築く責任が、もと大型プロジェクトが次々とあるのです。そのため私は今後、高速度道路計画とともに、大陸の人生を日韓トンネル表現に捧げたい」と報告会の冒頭、高とつながる日韓トンネル計画が、田支部長がロマンに満ちた力強い演説を集めた。次第に心を燃やした。トン

ネルが完成すれば九州は大陸貿易の中心地になる。それだけに本プロジェクトに対する地元関心は大きく、産業界を中心とした日韓トンネルブームがわきおこっている。技術者が多数詰めかけた報告会では、山崎教授が「ルート全域の地質がほぼ明らかになった」と、これまでの地質調査の実績を披露。またシルト工法によるトンネル施工の可能性も報告。トンネル掘削への明るい技術的見通しが紹介されて出席者に大きな希望を与えた。さらに調査科周辺海域と香岐・対馬の自然環境保全に関する研究も地元関係者の関心を集めた。西南学院大学の内田教授は「ハイウェイ建設の進展を報告。教授は、来賓から着上る海産物トンネルには、日本から工事費の三分の二が賄われる」と、またその着工が青函の成功に刺激されたことを述べ、日韓トンネルに言及して「トンネル掘削の際には国際法の問題はない」と語り、賛同者を安心させた。その日の総会へ、これまでの調

査研究を高く評価しながら「近い将来、本坑の建設も可能」と、自信をもって宣言する佐々木会長の姿に、出席者はトンネル実現への強い確信をもったようであった。北橋氏も、人類愛に裏付けされた構想であるかぎり必ず実現するとして、「現在マネージャーの本ばかり売られているように、アシアの平和と繁栄のためこそ国際ハイウェイ構想に賛同する」と、日韓トンネル建設への幅広い支援を求めた。また地元を代表して佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。横尾氏も、北九州で日韓トンネル計画がかなり一般的に知られており、地元では皆、早期実現を期待していることを述べ、「私は調査科の一角を担う」と、夢のトンネル建設に貢献できる喜びを語り、会場から盛んな喝采をおこなった。

懇親会では、九州大学名誉教授の万蔵三善教授の演説が、報告会の高潮を築いた。三善教授は「トンネル掘削の際には国際法の問題はない」と語り、賛同者を安心させた。その日の総会へ、これまでの調

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

関係市町村の協力を九州支部長 高田源清

日韓トンネル計画は、これまで地質調査に巨額の資金を投入してきましたが、九州はトンネル建設の地にもあるため、今後はいよいよ重要な時期を迎えています。関係市町村の協力を得られるよう努力してゆきたいと思います。

また、地元の代表として佐藤工業(株)の新社長・九州支店長、横尾八郎・北九州建設社長が挨拶。新地氏は「本日の総会には女性が大勢参加されて華やかさを感じた。また高田先生の日韓トンネルにかけられる意気込みと清水先生のユーモア溢れる講演に非常な感動を受けた」と総会の感想を述べた。

日韓トンネルの可能性探る



日韓トンネル研究会九州支部 第5回総会

◆部会研究報告会◆

第5回総会に先立ち午後一時半から、博多都ホテル内で、六十一年度の部会研究報告会が開かれた。報告会には九州各地の企業関係者が多く出席し、参加者はハイウェイの経済効果から地域環境問題にいたる幅広い研究成果に耳を傾けた。また昨年から佐賀県西町で掘削されている調査斜坑の坑内地質や、対馬の浅茅湾および名護屋浦海域における環境調査も報告され、日韓トンネル建設が地元九州から出発することを出席者に強く印象づけた。

報告会の冒頭、挨拶に立った高田支部長は、二百回まで掘削された調査斜坑の状況と陸海城の地質調査概要を紹介。今年はルート最終決定の時期であると述べ、「私は今後の人生をこのトンネル実現のために捧げた。この事業は九州で最も平和に貢献する仕事だ」とハイウェイ建設への強い意欲を語り、出席者の協力を求めた。

続いて第一部会から二年間の研究成果が報告された。第一部会報告は「ハイウェイ建設の理念・政策・経済効果」を研究する第一部会、第二部会報告は「アジアハイウェイの社会経済効果と五島海峡トンネル視察」を研究する第二部会、第三部会報告は「日韓トンネルの地形・地質・水理等を研究する第三部会」の山崎部長が九州支部と

しての活動状況を報告した。東松浦地域で実施された地表調査の結果と、佐賀県西町で掘削されている調査斜坑の坑内調査の報告が行われた。山崎部長は、東松浦半島及び志賀・対馬で実施された二一の本邦のボーリング調査と海域調査、波探査、渡海測量を紹介。かつて地質の過疎地帯であった対馬海峡で今日多くの地質データが得られたとして、「ルート全域にわたってすでに地質は明らかになっており、現在進めているのはトンネル掘削のための精査である」と述べた。

また昭和地下工業の油田氏は、切羽の写真とスケッチおよび破壊の火薬使用量と支保工から判断した斜坑坑内の地質概要を報告。二十五度の勾配で二百回まで掘削された斜坑が、途中、玄武岩や凝灰石、頁岩など、岩質の異なる複雑な地層に遭遇したことを明らかにした。

第四部会報告は、日韓トンネル関連地域の環境・気象・海象を研究する第四部会が、部会長の辻田教授が、昨年度に実施した名護屋浦近海と対馬浅茅湾での環境調査の結果を報告した。辻田教授は、自然環境を把握するには多分野にわたる科学的総括が必要と述べながら、「巨大プロジェクトが関連地域に及ぼす影響を事前に予測すること

ルートの換気計画、人工島の建設及び有料道路としての運用方法などを説明した。それによるトンネルの総延長は約三百キロ、工期短縮と換気のため途中五カ所人工島を設置する。またトンネル断面は、上部には自動車、下部には鉄道が走る構造になっており、工期は約十四年と見積もられている。

さらに、トンネル施工法として注目を集めているシールド工法の日韓への適用性について田中氏が報告。田中氏は、日韓のような大口径かつ大水深という条件下での施工実績は世界にないが、シールドマシンの現状および技術革新の程度から考えて、日韓トンネルに適合するシールドの開発は、近い将来可能になると語った。

調査と漁業実態の調査概要が発表され、さらに現在掘削中の調査斜坑が、隣接する名護屋浦・呼子海域の環境に及ぼす影響を予測するため、昨年度の夏と冬に行われた観測結果も報告され、地元関係者の注目を浴びた。

高田 源清 九州大学名誉教授
【副支部長】
兼重 修 熊本大学名誉教授
中富 正義 九州大学名誉教授
【顧問】
山崎 達雄 九州大学名誉教授
【顧問】
太田 誠一 衆議院議員
三原 朝雄 前衆議院議員
【参事】
田代 信雄 西日本技術開発常任顧問
黒木 一夫 備後工務店顧問
山口 昭二 平戸商工会議所会頭
真崎 賢郎 員長炭礦(株)理事
溝口 寛彦 西日本短期大学理事
宮崎 善喜 助産師経済調査協会理事
山口 正次 元伊万里市長
山崎 謙秋 富士ビーエスコンクリート社長
【監事】
大橋 二郎 弁護士
谷本 二郎 弁護士
【理事】
相原安津夫 九州大学助教授
石堂 稔 九州産業大学助教授
伊東 尚美 日本地研(株)社長
大内 和臣 西南学院大学助教授
表 俊一郎 九州産業大学助教授
堀山 茂 共立病院院長
鎌田 泰彦 長崎大学助教授
唐木田芳文 西南学院大学助教授
近藤 満雄 九州産業大学助教授
白水伊久男 サニホワイ代表取締役
高橋 清 長崎大学助教授
西田 正 九州大学助教授
☆原田 薫 長崎県議会議員(長崎分会長)
☆細川 深 福岡大学助教授
☆松尾 千秋 弁護士
☆山本 忠 自由民主対馬連絡協議会会長
☆光吉 健次 九州大学助教授
☆武藤 正行 国士館大学助教授
☆保田 正人 長崎大学助教授
☆山内 豊聡 九州大学助教授
☆印は新役員を示す(アイウエオ順)

日韓トンネル研究会九州支部役員

提唱者の言葉

第十一回科学の統一に関する国際会議(一九八二年)の講演より抜粋

今日の世界を一言で特徴づけるならば、大いなる混乱の世界といえます。東洋をみると西洋をみると、南も北も、先進世界も発展途上世界も、あらゆる社会が矛盾、不正、腐敗であふれています。紛争、衝突、反乱の悪循環が繰り返されています。

が、第三世界とアフリカでは、多くの人が飢えに苦しむために死ぬ人々を生み出しています。

真・善・美の基礎が、個人、国家、民族、思想体系によって異なるのが生きているのです。

それは、価値観の違いは根本的にどこから生じているのでしょうか。価値観の違いは、まず第一にエゴイズムから来ています。ほとんど例外なく個人はエゴイズムの虜であり、各国はエゴイズムの囚人です。そして各民族は、自分たちの利益ばかりを追求しているのです。

第二に、価値観の違いは思想の違いから生じています。世界にはさまざまな思想があり、その一つ一つが多くの信奉者を得ています。特に共産主義と民主主義は、そのイデオロギーで今日の人類を二つの大きなブロックに分けています。

絶対的価値の確立

混乱は価値観の対立から

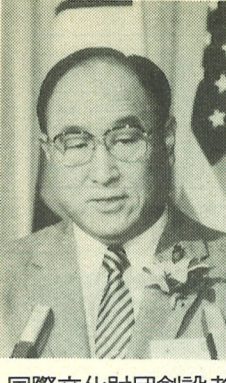
対立している価値観は、互いに認め合えない状態です。このような状況下では、衝突と不和が現れ、争いが必ず生じます。

従って私は、今日の混乱は価値観の対立と一致から生じていると結論づけるを得ないのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

も、先進世界も発展途上世界も、あらゆる社会が矛盾、不正、腐敗であふれています。紛争、衝突、反乱の悪循環が繰り返されています。

も、あらゆる社会が矛盾、不正、腐敗であふれています。紛争、衝突、反乱の悪循環が繰り返されています。



国際文化財団創設者

文鮮明師

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

この混乱の状態がさらに悪化し助長されるのは、人類は滅亡の危機に直面するのです。

日韓トンネル・研究報告会プログラム

開会挨拶 支部長 高田 源清

【第1部会】
① Asian Expressway Project の Social Economic Effects に関する調査 Part II (大アジアハイウェイ計画の社会経済効果) 特定産業信用基金理事 大塚 茂
西南学院大学教授 大内 和臣

【第2部会】
①九州支部第2部会について 九州大学名誉教授 山崎 達雄
②陸上部第2次地表踏査(東松浦地区) 西日本技術開発(株)土木部調査課 中川 英朗
③佐賀県西町調査斜坑坑内調査中間報告(写真スケッチ) 昭和地下工業(株)常務取締役 油田 敬吾

【第3部会】
①道路トンネル計画に関する調査(その1) 東京道路エンジニアリング(株)相談役 比留間 豊
②日韓トンネルシールド工法概略検討 日本シールドエンジニアリング(株)常務取締役 田中壬子也

【第4部会】
①名護屋浦・呼子海域の環境調査 北海道大学名誉教授 辻田 時美
②生態系系活用を目的とする対馬浅茅湾の環境調査

質疑応答

日韓トンネル研究会九州支部役員

【支部長】
高田 源清 九州大学名誉教授
【副支部長】
兼重 修 熊本大学名誉教授
中富 正義 九州大学名誉教授
【顧問】
山崎 達雄 九州大学名誉教授
【顧問】
太田 誠一 衆議院議員
三原 朝雄 前衆議院議員
【参事】
田代 信雄 西日本技術開発常任顧問
黒木 一夫 備後工務店顧問
山口 昭二 平戸商工会議所会頭
真崎 賢郎 員長炭礦(株)理事
溝口 寛彦 西日本短期大学理事
宮崎 善喜 助産師経済調査協会理事
山口 正次 元伊万里市長
山崎 謙秋 富士ビーエスコンクリート社長
【監事】
大橋 二郎 弁護士
谷本 二郎 弁護士
【理事】
相原安津夫 九州大学助教授
石堂 稔 九州産業大学助教授
伊東 尚美 日本地研(株)社長
大内 和臣 西南学院大学助教授
表 俊一郎 九州産業大学助教授
堀山 茂 共立病院院長
鎌田 泰彦 長崎大学助教授
唐木田芳文 西南学院大学助教授
近藤 満雄 九州産業大学助教授
白水伊久男 サニホワイ代表取締役
高橋 清 長崎大学助教授
西田 正 九州大学助教授
☆原田 薫 長崎県議会議員(長崎分会長)
☆細川 深 福岡大学助教授
☆松尾 千秋 弁護士
☆山本 忠 自由民主対馬連絡協議会会長
☆光吉 健次 九州大学助教授
☆武藤 正行 国士館大学助教授
☆保田 正人 長崎大学助教授
☆山内 豊聡 九州大学助教授
☆印は新役員を示す(アイウエオ順)

あなたの心を、ハイウェイの軌道へ！

国際ハイウェイのカレンダー

ができました！

人類一家族という理想の実現をめざして東洋と西洋の諸国を連結するプロジェクト

ご案内

- ☆カレンダー (1987年7~12月、51×78cm) ・300円
- ☆パンフレット(国際ハイウェイレポート2) ・350円
- ☆機関紙 (月刊・本郷路) ・年間購読料 3000円

お申込みは ☎03-496-2862

国際ハイウェイ建設事業団・本郷路編集部
〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12 新大宗ビル3号館4階 ☎03-496-2862

日韓の協力で調査すすむ

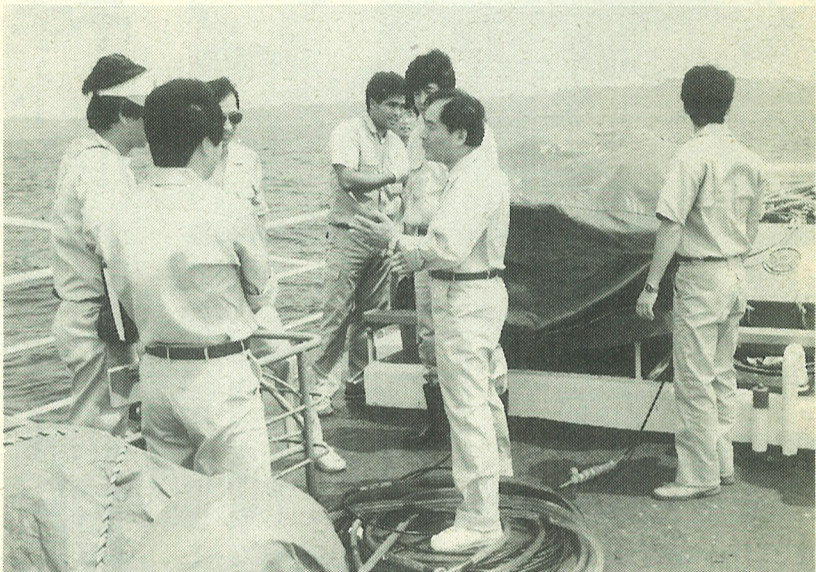
韓国・国際地質研究会

日本の技術を韓国に 音波探査の研修始まる

七月十六日、海域部の音波探査研修のため、韓国・国際地質研究会釜山支部の張善徳・釜山水産大学教授らが来日。第一定安丸での実地研修と日韓トンネル研究会役員による講義を受けた。また福岡と東京で、研究会主催の歓迎会にも出席。日本側スタッフとの交流を深めて、日韓トンネル実現へ日韓協力体制の足がかりをつけた。

韓国に大きな被害をもたらした台風五号の影響で、予定の五日の研修が、予定より半日遅れて福岡に到着した張教授らは、翌十七日、釜山で対馬に向かい、極東開発(株)の船内から第一定安丸に乗り込んだ。

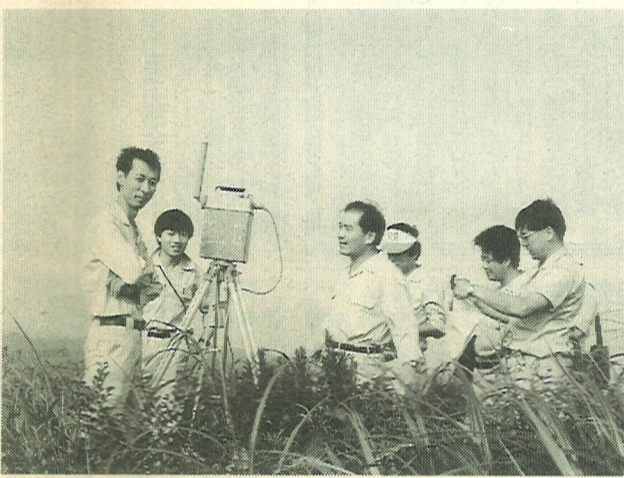
五月下旬から、対馬北西海域で延べ千三百メートルに及ぶ音波探査を続けている第一定安丸は、日本側技術者の「ハイカー」音波探査の全体概要と測深機やハイドロホンなどの機器の取り扱



張教授らは、第一定安丸での音波探査の実習に参加した

その後、海洋での船の位置を確認するための従員を見学。晴れた日には遠く韓半島を見渡せる対馬・千俵崎山のほり、山頂に設置されたトリスボンダを見学した。

十八日、研修団員のうち張教授ら三人は、総じて、日本側の進捗状況の早さに驚いた様子だった。



対馬・千俵崎山のトリスボンダ従局を見学

こうした九州と東京での研修を終えて二十五日夜、佐々倉長ら日韓トンネル研究会の主催で歓迎会がもたれ、日韓両国スタッフの交流が行われた。会には日本側から研究会各部長ら三十一名が出席。まず金山政英・元駐韓大使が歓迎の辞を述べ、「今回の技術交流によって日韓両国の研究協力体制ができたことは非常に意義深いことだ」と韓国側研修団員に謝意を述べ、トンネル建設における日韓両国の協力を訴えた。

韓国側を代表して張教授は、今回の研修に対して感謝の意を述べ、「今後とも日本側と協議を重ね、早く韓国でも調査を始めたい。日韓トンネルは私達の時代で実現させるべきだ」と抱負を語った。

また佐々倉長も今回の研修を終えて二十七日、張教授ら六名は韓国に向かい、ハードなスケジュールの中で、実習に講義と意欲的の取り組んだ彼らの姿は、日韓トンネル実現に向けて韓国側の意気込みを感じさせるものだった。



歓迎会で挨拶する金山氏(左端)

研究会役員メッセージ 韓国側に期待する

ありましたが、現在では本坑を建設する直前になっており、さらに韓国側との協力が具体的に示されていることは将来に明るい見通しを与えるものです。

その意味でも今回、張教授をはじめ六名の皆様から来日されて日本の技術を学ばれたことは非常に意義あることだと思います。この研修成果を持ち帰られて、韓国側の具体的な調査活動が進められるものと思っております。何よりも日韓両国の研究協力関係が具体的に進展していくことを望みます。



韓国の調査に期待

日韓トンネル研究会長 佐々保雄

これまでは、日韓トンネルの海峡部分は日本側についてだけ調査を行ってきました。韓国側については、やはり韓国の方に調査してもらうのが自然です。

今回、韓国から釜山水産大学の皆様に来日されて地質調査の研修を受けたわけですが、日本で学ばれた海底調査技術を活用して韓国側でも是非調査を進めて頂きたいと思っております。

海底の調査といってもいろいろあります。音波探査やドッキング、海洋ボウリングなどを併せて詳しい海底図面を作成しなければなりません。韓国側の海域での皆様調査に期待しています。今回の経験を土台にしてさらに勉強を続けていきたいと思います。



施工技術の交流も

韓国側の地質が明らかになれば、日本と韓国を結ぶトンネルの施工機械の選択も可能になります。その時は、地質の調査方法だけでなく、具体的な施工技術の面でも両国の技術者が交流していく必要があるでしょう。その日が早く来ることを期待しています。

日本側の研究会役員一同、皆さんを心から歓迎するものです。またできるだけ限りの協力を提供させていただきます。

韓国側の地質が明らかになれば、日本と韓国を結ぶトンネルの施工機械の選択も可能になります。その時は、地質の調査方法だけでなく、具体的な施工技術の面でも両国の技術者が交流していく必要があるでしょう。その日が早く来ることを期待しています。



釜山水産大学教授 張善徳

このたび、日韓トンネル研究会のお世話で技術研修を受けることができました。この研修を通じて、韓国では小規模の海底トンネルはありますが、日韓トンネルほどの規模は見たことも聞いたこともありません。

韓国でも早く調査を

具体的な調査方法についての貴重な経験も聞くことができました。地質調査所を見学することができまして大変勉強になりました。また、今後の研究の進め方や用語、地名など、日本側と統一しなければならぬところもある程度打ち合わせることができました。

帰国しましたら、日本で研修した内容を生かして調査を進めてゆきたいと思っております。今後の韓国側のスケジュールについては、帰国時、国際地質研究会でよく打ち合わせたいと思っております。そのために今後、日本の皆様とできるだけ多く協議を重ねてゆきたいと思っております。



協力体制の確立へ

国際的な公共事業の定着化は、世界平和の重要な要素になります。そのため文先生が提唱された国際ハイウェイ構想は、二十一世紀をめざして平和戦略として是非とも取り組まねばならない事業と考えます。

かつては、日韓トンネルなんて夢だという方も多かったと思います。このプロジェクトは是非実現しなければならぬ、私達の時代にそのきっかけを創るべきだと思います。そのために今後、日本の皆様とできるだけ多く協議を重ねてゆきたいと思っております。